

〔現状認識・展望〕

〔産業政策の基本方向〕

〔長期プロジェクト〕

〔センター実施事業〕

〔今回申請事業イメージ〕

(1) 世界の変化と展望

①経済・社会のグローバル化の進展

②第4次産業革命が進展

③地球環境問題への対応

(2) 岩手の変化と展望

①人口減少・少子高齢化が進行

②東日本大震災からの復興

●国際競争力が高いものづくり産業の振興

- ・地域クラスターの形成
企業連携マッチング
産学連携技術開発
- ・新産業への参入
- ・ものづくり革新技術

●地域経済を支える中小企業の振興

- ・経営力の強化
- ・生産性の向上
- ・新たな事業活動
- ・事業承継、人材確保
- ・切れ目のない金融支援

●地域資源を生かした魅力ある産業の振興

- ・新商品開発
- ・高付加価値化
- ・販路開拓・販路拡大
- ・海外展開を促進

☆北上川バレープロジェクト

- ・第4次産業革命のモデル地域創出



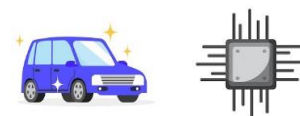
☆三陸防災復興プロジェクト

- ・復興した地域産業の振興



☆北いわて産業・社会革新プロジェクト

- ・再生I初等環境対応エリアの創出



○自動車・半導体・医療産業集積

- 取引商談会・取引斡旋
- 産学共同研究支援
- ILC関連技術支援
- IoT等導入支援

○よろず支援拠点（経営相談）

- 工程カイゼン指導
- 新事業・新商品開発助成（希望ファクト）
- プロフェッショナル人材拠点
- 奨学金助成
- 設備貸与・高度化資金

○物産展・食品マーケット

- 中国大連・雲南事務所



【現状・課題】

- ◇支援企業の偏重・固定化
→支援企業がマンネリ化。必要な企業に情報が届かず
- ◇販売取引先が固定化
→新たな販路開拓が手詰まり
- ◇企業の経営状況が不明確
→職員の企業訪問に限界
- ◇担当職員に確認しないとわからない情報も多い。
→センターの情報活用不十分

【今年度事業計画】

- ★情報データの統合・活用
- ・県内立地企業Data
- ・取引販路候補Data
- ・技術資源等Data
- ・学術機関・専門家Data
- ・人材候補Data
- ・支援メニューData

【効果】

- ☆新たな企業・人材発掘
- ☆取引・販売データの再活用
- ☆定期的な情報蓄積の仕組み

【次年度以降】

- ・企業間連携マッチングの強化
- ・新規参入等の裾野拡大
- ・企業・支援機関の情報共有
- ・遠隔地との情報連携